

実行委員長式辞

令和4年1月9日、長野市芸術館において、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底したうえで、『令和3年度11地区合同成人式』が挙行されました。出席した新成人688人のうち、城山公民館区からは94人の新成人が出席しました。

令和3年度

11地区合同成人式開催

第二〇五五 芹田・古牧・三輪・浅川・着槻・小田切



発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集人 小池英樹
発行人
印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (4・2・1)
第1地区…2,805
第2地区…5,446
合計…8,251世帯



小林 潤哉さん (芹田地区)

「想像していた未来が、想像もしていなかった事態(コロナ禍)によってかき消され、変化する社会に自分の無力さが浮き彫りになるのは想像以上に辛いものです。それでも私達の生活は滞ることなく、よい方向へと動き続けています。これは日々様々なところで活動して下さっている社会の皆様様の力であり、ここで立ち止まってはいけなないと背中を押して頂きました。皆様に恥じない社会の一員となれるよう努力して参ります。」



青木 南歩さん (古牧地区)

「この先、私たちは更にたくさんさんの困難な壁にぶつかるとになります。不安な気持ちでいっぱいですが、これまでの学びや経験を決して忘れずに、そして変化を恐れることなく、若者らしく元気に挑戦し続けるとともに、今まで私たちが生きてもらったように、今度は誰かを支えられる社会人になれるよう日々精進することを誓って、新成人代表の挨拶とさせていただきます。」



橋井 麻琳さん (第二地区)

「私は、現在看護師になるための勉強をしています。新型コロナウイルス感染症により、毎日命と向き合い奮闘しておられる医療従事者の方のように、私も一つ一つの命と正面から向き合い、少しでも人々の役に立てるような看護師になりたいと思います。私たちの中には大学や専門学校で日々勉強し自分の目標に向



佐藤 匠馬さん (第一地区)

かつて努力している人がいます。また、すでに就職して仕事に毎日奮闘している人もいます。立場はそれぞれですが、ひとりひとりが自分の行動に責任を持ち社会の一員として常に前向きに歩んでいくことを誓います。」



迫力のオープニング 三登山太鼓のみなさん

「変化する社会の一方で、これからも変わらない事もあると思います。それは、人と関わることの大切さです。今、私は大学で地域社会について学んでいます。信州の地域社会を学ぶ中で、自らの生まれ育った地がいかに人々の交流が豊かであるかを痛感しています。人は決して一人で生きていく事はできません。だからこそ、多くの人々と対話し、苦境を乗り越え、共に喜びを分かち合うことのできる大人になりたいと思います。」



荻原 長野市長

成人者誓いの言葉の発表に続き、荻原健司長野市長様より祝辞をいただきました。

「誰にも似ていない自分らしさを大切にして、自分が信じた目標に力強く進んでください。進む過程には困難なこともあるでしょう。どこを指すのか、何をすべきかと悩んだ時こそ前向きな気持ちが大切です。気持ちが変われば行動が変わります。行動が変われば結果が変わります。人生の成功は自分の情熱に素直に従う先にあります。みなさんの中には現在市内にいる方、また、市外にいる方、それぞれだと思いますが、市長の私としては、今後、長野市が「みなさん」に選択されるまち長野市をつくらなければならないにも、若い世代の代表であるみなさんの声をたくさん聞かせていただき、まちづくりに活かしていきたいと思っています。」

荻原市長の熱いメッセージに大きな拍手が沸きました。

特別寄稿

城山公園 地下の不思議 その6

城山北部 謎の巨石群③(信濃招魂社付近)

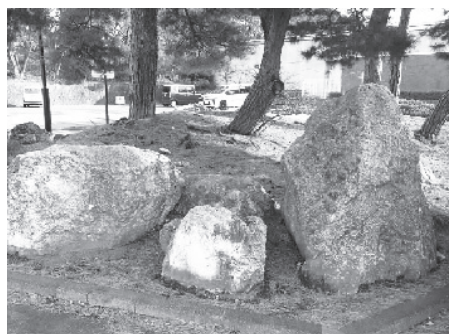
戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

長野県立美術館の工事で見つかった3個の巨石が裾花川によって運ばれてきたものだということが明らかになりました。すると、城山周辺にある他の石ころにも目が向くようになりまし。皆さんも

気づきかと思えますが、城山動物園や信濃招魂社周囲には、巨石がゴロゴロしています。庭石や地表に転がっている巨石を観察すると、白っぽくて、時々緑色をしたものがあります。その表面はガサガサして、角が尖った石ばかりです。あきらかに川によって運ばれたものではないことがわかります。石の「顔つき」から、これらは大峰山や地附山などに分布する「裾花凝灰岩層」の石だと判断できます。この裾花凝灰岩層は約700万年前の海底火山の噴火でできた軽石や火山灰、溶岩などが海底に堆積したものです。「地附山地滑り」をおこした地層として知られています。

地質学の同業者の中には、「この巨石は、かつて地附山より大きな地滑りがあって、ここまで運ばれてきたのではありませんか?」と考えたメンバーもいました。しかし、はつきりとした地滑り地形は見られないし、箱清水周辺にこうした巨石が見あたらな



少年科学センター前の裾花凝灰岩層の巨石

では、周囲の地質調査資料を探そうということで、城山動物園や少年科学センターの知人に尋ねてみました。すると、昭和43年(1968)完成の市民プール、昭和60年(1985)開館の少年科学センター建設時の地盤調査の資料が残っていました。その中

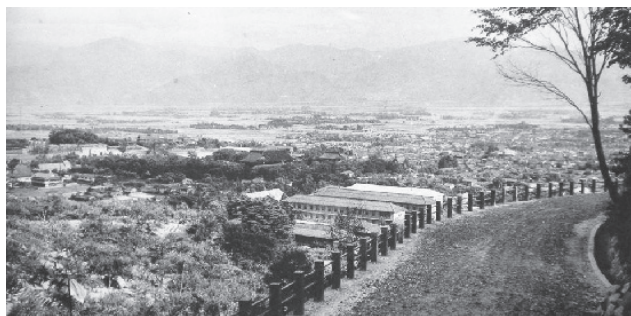
には昭和45年(1970)、信濃招魂社改築時に実施されたボーリングの記録も含まれていました。

これらには、信濃招魂社の周囲には厚さ3〜4mほどの盛り土がされており、中には裾花凝灰岩層の岩塊が混ざっていることが記述してありました。また、盛り土の際、旧表土も取り除かれていないし、締固め等の処置もなされていない、との記載もあります。つまり、裾花凝灰岩層の岩塊や土砂をどこからか運んできて、そのまま積み上げたものようです。

この盛り土は、いったいいつ頃行われたものなのでしょう。信濃招魂社が現在の場所に遷座したのは昭和18年(1943)のこと。そこで、大正時代の古地図や記録を調べると、当時堀切沢より北は長野町のはずれで、火葬場や隔離病院・墓地などがありました。そこを再開発するため、の盛り土だったのでないか、との仮説が思い浮かびます。ちょうど昭和7年(1932)12月より翌年5月末まで、展望道路(市道狐池上松線)の整備が行われています。この道路は裾花凝灰岩層でできた山を削って作られ、大量の岩

塊が出たはず。展望道路にも近く、加えて、再開発の必要もあつてこの場所に盛り土が行われたのだろうと考えられています。

城山は長野盆地西縁の活断層が動き、隆起してできた丘陵です。戦国時代に横山城が築かれたのも、堀切沢があるのも、明治天皇の巡幸時にここで善光寺平を望んだのも、丘陵として意味があるからなのです。城山は、時代の流れの中で整備が繰り返され、現在の形となっていることがわかりました。たかが「石ころ」なのですが、いろいろなことを語る証人でもありました。



展望道路(市道狐池上松線)からの眺め 昭和初期

折々日記 マンションと街の変貌 山口 茂文

県は一月、月刊誌「田舎暮らしの本」で移住したい都道府県ランキングで、長野県が16年連続1位と発表し、民間との連携取り組みの成果だとしている。

街中を歩けば、空き家かど気が付く住居が目に入る中、人口減少や高齢化で中山間地の空き家問題は深刻だが、都市部から移住する人の動きが注目を浴び、市や地域社会の移住促進策も奏効し、徐々に増えてきたようだ。

一方で昨今新聞のリード文に完売御礼の文字が躍るように、次々中高層マンションが街中に姿を現している。実際、市内の新規分譲住宅の約4割がマンションだ。

高齢者が生活の利便性等を求めて郊外から街中に転居する動きと併せ、この活況には率直な驚きを感じる。

都市と地方、高齢者と若者間の住み替えが好循環し市中の活性化に繋がると良いが、商業オフィスビルと並びマンションが市中に屹立する情景はきつと市街地の街並みの景観を変えていくだろう。



現在大きく変容しつつある城山公園の、かつての姿を長く記憶にとどめたいとの願いから始めた『歴史シリーズ城山公園』も、11回目となりました。今回は、明治初期に建築され、後の城山公園の形成に大きな影響を与えたと考えられる城山館（後の城山公民館）について紹介します。

明治20年（1887）、善光寺お藤元の長野町に、広く市民が集える施設として城山館が開館しました。これは長野町の有志（長野倶楽部）により建築されたもので集会や貸し席にする目的で建てられました。



蔵春閣（左）と城山館（右）

城山館

この年、城山館では再燃した自由民権運動が目的とした条約改正反対運動の懇親会が開催されました。その後も市民の政治活動として様々な演説会や県民大会・集会活動等が盛んに行われ、これは大正デモクラシーの時期まで続くことになりました。

明治31年（1898）には、長野市が城山館を信濃銀行などから4000円で買収し市公会堂としました。

そして、年始には県知事や市長も参加して名刺交換会が行われるなど、城山館は名実ともに長野市を代表する公共集会施設となっていました。

明治40年（1907）には、翌41年に開催される一府十県聯合共進会（館報182号参照）の貴賓接待館として城山



城山館玄関に掲げられていた看板

館東館が建築されました。これは蔵春閣と呼ばれ、城山館は城山館西館と呼ばれました。蔵春閣には音楽堂も付設され、能楽や音楽会などが盛大に行われるなど、多くの人々を集める社会教育施設となりました。

この後、蔵春閣は昭和24年（1949）に火災で焼失し、市民の要望を受けて昭和42年（1967）に2代目（現在）が再建されました。大ホールや野外音楽堂、会議室・食堂・結婚式場等を備え、建築家三沢浩氏の設計による特徴的な姿が人々の心を惹きつけるとともに、城山高台の最も高い建物として市民に親しまれました。



現在の蔵春閣



城山公民館 元城山館

城山公園一帯は、今後も長野市少年科学センターの改修整備や城山市民プールの廃止などが予定されていて、さらに大きく姿を変えていくこととなります。（小池）

令和4年度 城山公民館成人学校 受講生募集要項

成人学校受講生を募集します。皆様のご応募をお待ちしています。

1 募集講座

令和4年度募集の30講座（4）面参照

2 講座学習の日程

(1) 3学期制の講座（各学期12回、年36回）

- ・1学期 4月11日(月)～7月15日(金)
- ・2学期 7月25日(月)～11月11日(金)
- ・3学期 11月14日(月)～3月10日(金)

(2) 2学期制の講座 ※

- ・たのしいハーモニカ教室
- ・悠遊 BONSAI「盆栽」
- ・四季に愛される盆栽とわたし
- ・ウクレレ教室
- ・楽しくハワイアンフラ（各学期16回年32回）

(3) 1学期制の講座 ※

- ・のびのび骨盤調整ヨガ®（16回）
- ・北信濃歴史探訪（12回）
- ・郷土史「善光寺」（12回）

※1学期制・2学期制とも講座により日程が異なるため詳細は公民館にお問い合わせください。

3 講座時間

1講座2時間

- (1) 午前の部 9時30分～11時30分
- (2) 午後の部 13時30分～15時30分
- (3) 夜間の部 18時00分～20時00分

◎太極拳(火)は、18時30分～20時30分

4 受講料

1学期8,000円

5 教材費等

講座によりテキスト代・教材費を実費負担

6 受講申込

- (1) 期日 4月4日(月)
- (2) 場所 城山公民館 102教室

(3) 受付時間

- ・一次募集 午前・午後講座 9時30分～11時30分
- 夜間の講座 18時00分～18時30分
- ・二次募集 午前・午後講座 14時00分～18時00分
- 夜間の講座 18時30分～19時00分

(4) 受講料納入 1学期または前期受講料（8,000円）を納入ください。

裏面(4面)の「募集講座のご案内」をご覧ください

令和 4 年度 城山公民館成人学校 募集講座のご案内

Table with 5 columns: 講座名, 曜時定, 講師, 内容. Contains 30 lecture entries including English, painting, history, martial arts, and music.

□は3学期制 ■は2学期制 ■は1学期制 注1(18:30~20:30) 注2(13:30~15:00) 注3(10:00~11:30) 詳細は(3)面の募集要項参照

新刊図書のご案内

悪魔には悪魔を 大沢 在昌
薔薇のなかの蛇 恩田 陸
仮面 伊岡 瞬
原因において自由な物語 五十嵐 律人
むかしむかしあるところに子ヤギが ダン・リチャーズ
うちで作るチャーハンがウマイ! 佐藤 樹里
これでおしまい 篠田 桃紅
とにもかくにもごほん 小野寺 史宜
子のない夫婦とネコ 群 ようこ
カピバラのだるまさんがころんだ 中川 ひろたか
開城賭博 山田 正紀
まっくら 黒井 健
指切りパズル 鳥飼 杏宇
毒警官 佐野 晶
ダブルバインド 城山 真一
残照の頂 湊 かなえ

あちこちスナップ



しめ縄づくり (茂菅)



令和3年12月15日、茂菅公民館で2年ぶりに伝統の行事を開催。男女16名の参加者がしめ縄づくりに挑戦した。

編集後記

新型コロナウイルス感染症予防が叫ばれ2年以上になりますがアルファ・デルタ・オミクロン株と次々新しいウイルスが発生しています。コロナの影響で各地域でも計画した行事が中止となり住民のコミュニケーションの場がなくなっています。早く終息できるように願っております。

そんな中、昨年長野県立美術館が開館し新鮮で心が癒される美術館、また風光明媚な素晴らしい城山公園一帯となりました。コロナ禍ではありますが「館報城山」も、楽しく読んでもらえるよう編集委員一同取り組んでまいります。(柄澤)

令和3年度 館報編集委員

